

項 目	変更内容等	部会審議			審議の状況
		第1回	第2回	第3回	
1 今回申請された変更について (1) 調査対象の範囲の変更	ア 選定基準に基づく調査品目の変更等	●			【適当と整理】 (品目を見直すこととした背景事情等が分かりにくいとの意見はあったものの、選定基準に基づき、把握の必要性が低下した調査品目等を廃止していることを確認し、了承。) 【委員等からの主な意見】 ◆ 消費者物価指数の統計精度に与える影響について、統計利用者に対する情報提供をより丁寧に行うことが望まれる。 ◆ POS情報については、より多くの品目に係る情報を活用する余地があるのではないか。今後、価格動向に地域性のあるものも含めて、より活用範囲を拡大できるよう検討の加速をお願いする。 ◆ POS情報の活用を拡大する際は、価格の代表性を担保できているかの検証も併せて行う必要がある。 ◆ 品目の名称は家計調査の収支項目分類と整合している方が活用しやすい。一般的に広く使用される名称の方が望ましいので、今後も利便性向上のため必要に応じて見直すことが望まれる。
	イ 品目の名称整理	●			【適当と整理】 (実態として、「上位品目」の区分は調査結果の公表においても使用されておらず廃止しても影響が生じないこと、家計調査の収支項目分類と消費者物価指数の品目の対応関係は引き続き公表されることを確認し、了承。) 【委員等からの主な意見】 ◆ 現在も家計調査の収支項目分類と消費者物価指数の品目の対応関係は公表されているとのことであるが、今後も統計利用者に対する情報提供をより丁寧に行うことが望まれる。
1 今回申請された変更について(2) 使用する統計基準等の記載の変更	○ 季節調整プログラムを更新することに伴い、調査計画の記載を「X-12-ARIMA」から「X-13ARIMA-SEATS」に変更	●			【適当と整理】 (現行のプログラムが既に提供終了していることを受けて最新のプログラムに更新するものの、季節調整の設定自体は従前と変更がないため、結果数値への影響はないことを確認し、了承。)

項 目	変更内容等	部会審議			審議の状況
		第1回	第2回	第3回	
2 統計委員会諮問第142号の答申(令和2年9月9日付け統計委第14号)における「今後の課題」への対応状況について	① POS情報等を活用する品目の拡大の検討 小売物価統計調査(動向編)の調査品目について、消費者物価指数の精度向上等に調査のリソースを集中させるためにも、POS情報等を活用する品目を拡大できないか、引き続き研究すること。	●			1(1)アと併せて審議(審議の状況は同欄に記載のとおり)
	② 選定基準における品目の定義の検討等 品目の定義は、選定基準に大きな影響を及ぼすことから、統計精度の更なる向上を目指すためにも、調査の実施可能性を勘案しつつ、その基本的な考え方を含め継続的に検討すること。 また、小売物価統計調査(動向編)の調査品目の選定に当たっては、家計調査を補完する参考情報として業界統計やサービス利用者に対するアンケート調査結果等を一層活用すること。 さらに、近年増加しつつあるダイナミック・プライシング(変動料金制)等、デジタル化の進展に伴い変化する価格への対応についても継続して研究を進めること。	●	●		「品目の定義」について、1(1)アと併せて審議(審議の状況は同欄に記載のとおり)
	③ 構造編の在り方の検討 小売物価統計調査(構造編)は、現行の消費者物価地域差指数の利活用状況を踏まえつつ、その在り方について継続的に検討すること。				(第2回部会で審議)
	④ 特売価格の実施状況の把握 特売価格の把握については、消費者の購買行動の変化及び統計利用者のニーズを踏まえつつ、その手法について検討中であるが、引き続き検討すること。				(第2回部会で審議)
3 本調査に関する第Ⅳ期基本計画への対応状況	① 消費者物価指数の精度向上に係る各種課題について引き続き検討を行い、その結果を統計委員会に報告する。				(第2回部会で審議)
	② POSデータ(消費者物価指数、商業動態統計調査等)、ウェブスクレイピングデータ(消費者物価指数等)及び人工衛星データ(作物統計調査、SDGグローバル指標等)等、既存の公的統計の中で活用されているデータについて、必要性や費用対効果等も踏まえ、活用の対象を拡大するなど、これらのデータ活用の横展開を検討する。	●			1(1)アと併せて審議(審議の状況は同欄に記載のとおり)

※部会日程

- 第1回 (第134回サービス統計・企業統計部会) : 令和7年7月4日 (金) 開催
- 第2回 (第135回サービス統計・企業統計部会) : 令和7年8月1日 (金) 開催予定
- 第3回 (第136回サービス統計・企業統計部会) : 令和7年8月12日 (火) 開催予定